

小学校出前授業「楽しいお天気講座」の最近の活動

寺 野 健 治*・藤 井 健**

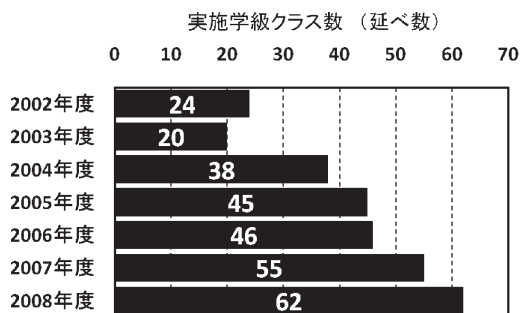
関西地区在住の気象予報士で組織している関西気象予報士会では、2000年9月より小学校への出前授業「楽しいお天気講座」を実施している（諫山・富田 2003）。この授業等を通じた気象学の普及活動が評価されて、2005年11月の日本気象学会秋季大会において奨励賞が授与された（諫山・寺野 2006）。それから3年余りが経過したが、この間、出前授業は年々活発になっており、受講した児童の評価も高まりつつある。その一部については、気象学会の大会等で発表している（藤井ほか 2006, 2008）が、ここでは、奨励賞受賞後の活動状況について簡単に報告する。

出前授業の依頼は、第1図に示すように、年々増加しており、2008年度は62学級クラスで実施している。これに伴って、受講した児童数も増加の傾向にあり、2008年度には2000人に近づいている（第2図）。これは、出前授業の評判が学校間に広がっていることも関係している。また、夏休みなどに子どもたちに呼びかけて開催しているイベントを合わせると、2000年の開講以来、受講者は延べ数で1万人に達している。

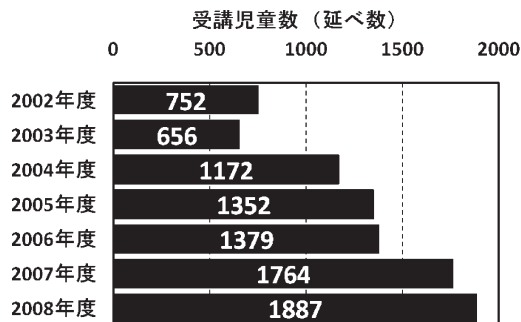
出前授業終了後、担任教諭に依頼して、児童に対してアンケート調査を実施している。その項目の中に「今回の授業は、どうでしたか？」（4択方式）という設問があり、年度別集計結果は第3図のようになる。最近2年間に於いて、「とても楽しかった」と回答した児童の比率は80%程度にまで上昇している。これは、講師の経験の積み重ね、講師事前説明会と反省会（各年2回開催）における講師間の情報交換、コンテンツの改良が大きな役割を果たしていると考えられる。一方、「内容は、どうですか？」（4択方式）の設

問では、「とてもわかりやすかった」と回答した児童は60%前後で、過去4年間では、ほとんど変化がない。さらに解りやすく説明する努力が必要であると思われる。なお、2008年2学期以降の授業では、2008年7月28日に神戸市の都賀川で起った水災害についても取り上げ、災害に対する注意を喚起している。

以上のように、「楽しいお天気講座」の活動は、



第1図 出前授業「楽しいお天気講座」を実施した年度別学級クラス数（延べ数）、2008年度は2009年2月28日現在。

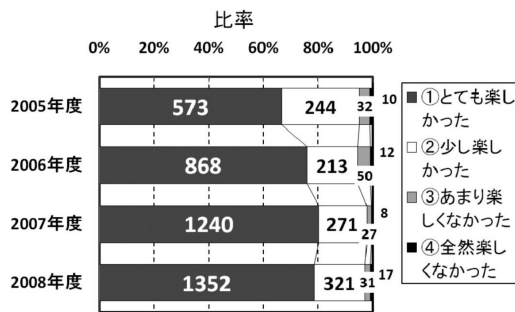


第2図 出前授業「楽しいお天気講座」を受講した年度別児童数（延べ数）、2008年度は2009年2月28日現在。

* Kenji TERANO, 関西気象予報士会.

** Takeshi FUJII, 関西気象予報士会.

© 2009 日本気象学会



第3図 設問「今回の授業はどうでしたか？」に対する回答の分布（グラフ中の数値は回答者数），2008年度は2009年2月28日現在。

年々活発になっており，これは奨励賞を受けたのが励みにもなっている。また，2004年10月から4年間にわたって受けた（財）日産科学振興財団の理科／環境教育助成は，講師の出張，イベント開催，コンテンツ改良などの活動の支えとなっていた。

「楽しいお天気講座」の情報は，学校間に伝わっており，活動はさらに活発になっていくと予測される。しかし，出前授業の依頼は小学校5年生が気象を学習する9～11月に集中し，しかも平日に限られる。この

ため，講師（各回3名）の確保が難しいが，新しい講師の養成に尽くしたい。また，反省会等を通して，授業内容の改善に努める所存である。

私どもは，子どもたちが千変万化の毎日の空を眺め，天気の移り変わりに関心を深めるとともに，これがきっかけとなって，他の自然現象への好奇心や探求心も育まれていくことを期待している。

参 考 文 献

- 藤井 健，寺野健治，陰山美加子，山田勢子，中島保則，2006：小学校出前授業「楽しいお天気講座」の最近の状況。日本気象学会2006年度秋季大会講演予稿集，（90），227。
- 藤井 健，寺野健治，陰山美加子，福光さゆき，中島保則，三宮友志，2008：小学校出前授業「楽しいお天気講座」の最近3年間の活動。2008年度日本気象学会関西支部年会講演予稿集，1-4。
- 諫山安彦，富田正夫，2003：ボランティア活動：小中学校向け出前授業「楽しいお天気講座」への取り組みの紹介。日本気象学会2003年度春季大会講演予稿集，（83），180。
- 諫山安彦，寺野健治，2006：奨励賞を受賞して。天気，53，61-63。